2022.8

WASEDA ALUMNI
SINCE 1885

早稲田大学校友会
佐倉稲門会会報

稲門佐倉

第34号

オランダ風車 リーフデとひまわり　撮影：中村 勇(S60社学)

会長挨拶

会長　竹鼻 始（S47理工）

総会を6月12日に3年ぶりに開催することができました。51名の会員の方に出席いただき、ありがとうございました。懇親会で会員の皆様ともお会いすることができ、有意義な時間を過ごさせていただきました。参加した皆様も楽しんでいただけたでしょうか？

コロナ禍でIT技術を活用した在宅勤務や大学でのオンライン事業が幅広く活用されるようになりました。オンライン会議システムも一般化しています。Zoomという言葉を最初に聞いた2年前は、何を意味するかも分かりませんでしたが、今は固有名詞のように使われています。佐倉稲門会でも幹事の打合せや、同好会活動でZoomを使っています。千葉県支部の多くの会議は、現在はZoomがほとんどです。

しかし、昭和生まれのアナログ人間には今一つオンライン会議はしっくりしません。数人での会議は良いですが、出席者が多くなると額縁に並んだ顔との対面になります。どの額縁の顔が発言しているかを見ながらの会議参加です。集中するのが難しい感じです。オンライン飲み会というのもあります。会話が発言中の人に特定され、飲み会特有のガヤガヤさはありません。昭和生まれの連中とのオンライン飲み会だったせいかもしれませんが、数回参加した飲み会はあまり楽しくありませんでした。

勿論オンラインの良さもあります。講演会などはわざわざ会場の行かなくても参加することができます。多くは無料です。オンライン講演会に参加して、一つ気がついたことがあります。質問が多いことです。ほとんどの講演は質問をチャット機能で受け付けています。そのためでしょうか、講演者が回答できないくらいの量の質問が集まります。対面講演会で挙手をして質問する人は数えるほどです。大学での講義も対面とオンラインとのハイブリッド授業になっているようです。先日大学の職員の方と話した中で、同じような事を聞きました。オンライン事業の方が対面事業より質問が多く出るそうです。オンライン授業の長所の一つとして捉えているとのことでした。

コロナ感染者も安定した状態で、これからはウィズコロナの時代に入ると思います。佐倉稲門会も今回の総会を終えて、感染対策をしながら活動を再開する予定です。9月末には佐倉稲門会・三田会合同講演会を予定しています。来年1月には例年通り新年会を開催したいと思っています。4つのスポーツ観戦会の野球早慶戦、ラグビー早慶戦、箱根駅伝、早慶レガッタも感染状況を見ながらですが、再開したいと思っています。これから色々とご案内が送られると思います。ぜひ積極的にご参加ください。

2022年度行事予定、総会開催報告

幹事長　森山 泰充 （S48政経）

新型コロナウイルス感染症の猛威により、この２年の間は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に伴う行動制限など、日常生活への影響も長期化しました。会員の皆さまにおかれましても、感染防止対策を常に意識した生活となり、欲求不満やご心労の日々であったことと存じます。

本年度は対面の総会を３年ぶりに6月12日開催することができ、提案した議案はすべて承認して頂きました。ありがとうございます。またマスク姿でしたが会員の皆さまが直接会って、お互い元気な姿を確かめ旧交を温めるいい機会になったと思っております。

国や自治体からの感染防止対策指針を遵守して、佐倉稲門会行事や同好会活動を徐々に再開して参ります。佐倉稲門会の特有行事である「里山散策と野草料理を楽しむ会」、「佐倉三田会との合同講演会」等に出席されて、また多彩な同好会活動にも参加されることで、従来にも増して楽しくコミュニケーションを深めて頂ければ幸いです。そして対面の活動だけではなく、Zoom機能を活用した新しいスタイルのオンライン会合や行事も随時開催して、会員の皆さまの交流推進を図ることを検討しております。

なお地域社会への貢献と地域の方々との交流を目的として2019年まで25回開催してきました、恒例の「ふれあいコンサート」は会場利用人数制限が続いていますので、残念ですが４年連続して開催を断念しました。

	行事予定	同好会活動予定	校友会･県支部活動予定
9月	30日 佐倉稲門会三田会合同講演会	ゴルフ会 麻雀会 囲碁会 俳句会 カラオケ会 ハイキング会 ウォーキング会 能･謡を楽しむ会 東京で飲もう会 寄席を楽しむ会 懇話会	17日 千葉県支部幹事会 24日 代議員会 30日 稲門祭実行委員会
10月	23日 稲門祭 23日 ホームカミングディ 早慶戦野球応援会		29日 千葉県稲門祭拡大実行委員会
11月	23日 早慶戦ラグビー応援会 27日 千葉県稲門祭		
12月	競馬観戦会		
1月	3日 箱根駅伝応援会 新年会		
2月			
3月	里山散策と野草料理を楽しむ会 花見会		12日 代議員会

・同好会活動については、活動幹事もしくは幹事長（090-7735-9093、yas.moriyama@splash.dti.ne.jp)に問い合わせてください。

2022年千葉県稲門祭開催！

日時　2022.11.27（日）14:30～19:00
場所　東京ベイ幕張ホール（JR海浜幕張駅徒歩数分）
方法　対面（懇親会実施予定）＆リモート
会費　対面10,000円、リモート1,000円
内容　講演会　熊谷 俊人 千葉県知事
　　総長懇談会　田中 愛治 早稲田大学総長
　　懇親会

奥山　康夫さん（S40商）

皆さま初めまして。この度佐倉稲門会に入会させていただくことになりました奥山康夫と申します。

上石神井の早大高等学院では吹奏楽部でトランペットを吹いていましたので、大学進学後すぐにニューオーリンズ・ジャズクラブに入部、以後大学生活の中心がバンド演奏活動で、南は本土復帰前の沖縄、北は北海道と日本全国隈なく演奏活動に明け暮れておりました。

昭和40年の卒業と同時に、浦安沖を埋め立てして世界一の遊園地を造る、という夢のような話を聞き、（株）オリエンタルランドという会社に学卒一期生として入社しました。埋め立て造成業務から遊園地開発事業に携わり、やがてディズニーの誘致という難題に取り組み、東京ディズニーランドの開園へと大きな夢を実現させることが出来ました。米国ディズニー社と交渉を開始した昭和40年代、日本の余暇市場はとても小さく欧米とは比較になりません。ディズニー構想は大失敗するとささやかれた当時が懐かしく思い出されます。

齢八十を迎えた折に何か新しい手習いをと考え、佐倉稲門囲碁倶楽部で囲碁のご指導を受け始めたところです。

どうぞよろしくお願いいたします。

竹中　靖博さん（S54法）

昭和54年に法学部を卒業しました。

新臼井田に住んでいます。

学生時代は、体育局馬術部に所属していました。

1～2年生の時は、ほとんど厩務員のような生活で早稲田のキャンパスより東伏見に通う毎日でした。3年生になってやっと思う存分馬に乗れると思った矢先に、体を壊して選手としての活躍はありませんが、4年生の時同僚が六大学で優勝し、我々の代が馬術部の歴史に刻まれたことが今も誇りです。

佐倉には93年の春、予算と息子が小児喘息だったため、東京への通勤は大変でしたが自然環境の良さが気に入って越して来ました。ただ、通勤疲れで寝に帰るだけの毎日であったのと転勤で単身赴任も含め15年以上離れ、6年前退職とともに戻ってきました。

しばらくは東京に出かけることも多く、地元にあまり関心はありませんでしたが、コロナで外出が制限され、印旛沼の周辺を散策するうちに、印旛沼周辺の自然のありがたさに改めて気付かされ、去年から臼井公民館主催のコミュニティカレッジさくらで、「印旛沼の魅力を高めよう」とのテーマで数人の仲間と印旛沼周辺に桜や紅葉を植樹できないかと活動を始めたところです。

私にできることは微力ですが、皆様から何か良いお知恵やご助言が頂けると、大変ありがたく存じます。

３年振りの総会

６月12日、ウイシュトンホテルユーカリにて令和4年度佐倉稲門会第36回定期総会が三年振りに開催されました。来賓7名、会員51名、合計58名出席の盛大な対面による総会となりました。総会開始前に一昨年から今年にかけて逝去された会員の方々のご冥福を祈り黙祷を行いました。

第一部は竹鼻会長挨拶のあと、来賓の早稲 田大学地域コーディネーターの岡崎成光様 よりご挨拶を賜り、千葉県支部稲門会に携わる事になった自身の経緯と本学の近況等のお話を伺いました。その後、議長を指名し、議案の審議―1号議案「2021年度活動報告と会計報告」並びに「会計監査報告」、2号議案「2022年度活動計画と会計予算」―を行い異議なく承認されました。その後、新入会員３名、初参加２名、計5名の方々が自己紹介をされました。

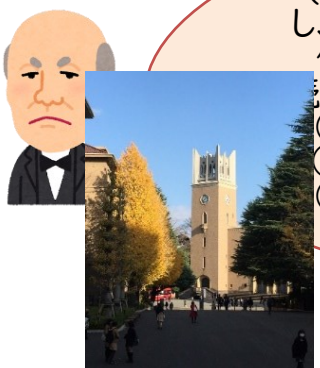
第二部はすがやみつる氏（マンガ家・小説家）による講演会。演題は「マンガ家人生50年」、プロジェクターを使用し、自身の紆余曲折のある長い漫画家人生―小学生の頃から戦記マンガを描き始め、高校在学時に「漫画研究会ミュータントプロ」に所属し、高校卒業後に石森プロダクションに入り1971年に「仮面ライダー」でデビュー、作画が下手で師匠の石ノ森章太郎先生からは、人の三倍を描けと言われ、以後この言葉を人生の指針とし、三日徹夜も当たり前の過酷な漫画修行、趣味の無線通信から聖地の秋葉原通いが草創期のコンピューターに出会い、その操作を習得。連載漫画の不安定な仕事量から永続性のある解説付きの漫画の領域を求め、その成果が1983年「ゲームセンターあらし」と「こんにちはマイコン」の二作品で「小学館漫画賞」を受賞、54歳で早稲田大学人間科学部ｅスクール人間情報科学科入学、大学院人間科学研究科修士課程を修了、2013年から2021年まで京都精華大学のマンガ学部及び国際マンガ研究センター教授を務める等、常に漫画を通してマイコン、コンピューターゲーム、パソコン通信、実務に関する教養マンガを手掛ける、また、趣味のF1レース鑑賞が高じ、遂には英文による日本からのレース解説者になる等―を語られました。正に多彩な活躍の裏にある旺盛なチャレンジ精神に聴衆の皆さんも多いに刺激を受けられたようでした。

第三部は懇親会、三遊亭遊かりさんによる落語を楽しみ、来賓の木内健二千葉県支部副支部長様の挨拶の後、103歳の大先輩、佐藤久弥氏が乾杯の音頭を取られました。

今回はコロナ対策を十分に講じ、テーブルとテーブル間の十分な空間および１テーブル席5名配置のお陰で参加者の方々もゆったりとした中で美味しい中華料理とビール、酒、ワイン、焼酎等の飲み物を味わい、お互いの親睦を深めました。親睦会のあとは古場田副会長の閉会挨拶、最後に「都の西北」を全員で黙唱し散会となりました。

諏訪　吉春（S49商）

大学から感謝状

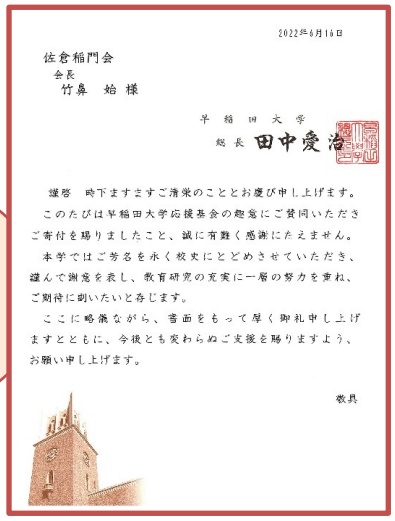


「早稲田大学応援基金」（旧「WASEDAサポーターズ倶楽部」）に寄付し、大学から感謝状が届きました。

佐倉稲門会の活動目標は次の３点で、寄付を続けています

①会員相互の親睦の深化
②母校早稲田大学の発展に協力
③地域社会の文化の向上に寄与

ご理解、ご協力ありがとうございました。



2022年6月16日

佐倉稲門会
会長
竹鼻　始 様

早稲田大学
総長 田中愛治

謹啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
このたびは早稲田大学応援基金の趣意にご賛同いただきご寄付を賜りましたこと、誠に有難く感謝にたえません。
本学ではご芳名を永く校史にとどめさせていただき、謹んで謝意を表し、教育研究の充実に一層の努力を重ね、ご期待に応えたいと存じます。
ここに略儀ながら、書面をもって厚く御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

アモールの国ブラジルに暮らす

宮武　忠博（S40法）

それは突然のことでした。サンパウロに単身赴任した２年目、５１歳のクリスマスの夜、会社からマンションに帰ったとたん強烈な淋しさが込み上げてきました。「うつ病」でした。

ブラジル勤務は前回のリオデジャネイロと合せ８年余りになります。ブラジルは多民族からなる移民の国なので、夫々の同胞愛が心の拠り所になっているようです。ブラジル人にとって人生は身も心も愛に捧げる事でしょう。恋人に、家族に、身内に、アミーゴ（友人、同志）に。日常に目をやれば、妻を３日ほったらかすと離婚原因になり、怒鳴ったり手を上げたりすると警察が駆けつけてきます。子供は特に可愛がり怒ったり叱ったりしません。

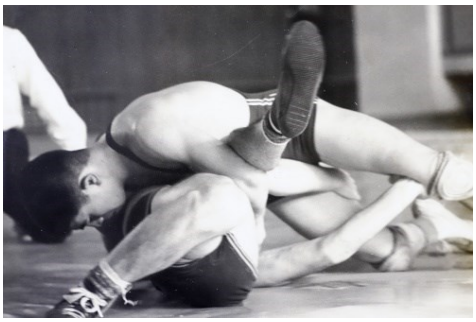
誕生日には身内や友人家族を招き盛大にパーティをします。朝市で幼児が店先のバナナをつまみ食いしても見過ごされます。週末は家族で公園、ショッピング、ドライブ、ビーチへと出かけます。恋はオープンでストレート、且つ熱い。女性がスポーツ感覚でモーションを掛けることも珍しくありません。不肖私もストーカーされた事がありました。私の運転手なぞ結婚も数回繰り返し、子供の養育費で給料が消えていました。かの有名なリオのカーニバルでは５万人の私生児が生まれます。人生は楽しむ為にあり仕事はそのためにあるというコペルニクス的人生観は「青天の霹靂」でありました。自称「会社人間」の私には会社の発展と自らの頑張りが幸福への道という強い思いがあり、３度の海外勤務、１０数年の単身赴任にも従って来ましたので、ブラジル人の真逆の生き方に衝撃を受け、忽ち悔恨の思いが沸き上がってきました。家庭人としての失格と失った年月、やり直せない過去に対する嘆きでした。それから不眠と失意の日が続き、通院、ハリ、マッサージ、カウンセリングに掛り更に人に勧められた出勤前の散歩と１年近い復帰生活となりました。

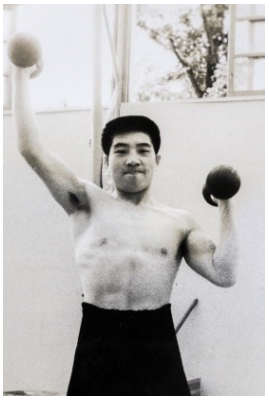
結婚後、家事、育児は妻の役割と決め込んでいましたが、これは後々禍根を残すことになる私の過ちでした。時はバブル時代を前にして仕事も順調で夜は社外接待や社内のノミニュケーションが常となり否応もなくこの流れに嵌っていきました。家では家族に寄り添う事もなく週末の客人になり果てていました。妻は予期せぬ生活への失望とマイペースを押し通す私への不満、不信が募り取り払えないしこりが出来ていきました。

５０年を超える妻の苦労に報いる術もなく、自責の念に駆られますが人生も９回裏と後がなく「起死回生」の一打を捜す時、それは自らの「意識改革」にあることに気づきます。意識を「自分ファースト」から「相手ファースト」に切り替えると相手が見えるようになり、相手の事を思いやれるようになる。自らも安らぎ、喜びを感じ、そこに愛があることに気付き、新たな勇気が湧いてくるようです。

明るく元気で「老い」と付き合う

平野　萬司（S41政経）





私は今年の５月２８日に無事７９歳の誕生日を迎えました。有難いことに７９年間大きな病気や怪我もせず一度も入院しないで済みました。また、風邪やインフルエンザ等で寝込んだこともほとんど有りませんでした。そして、首や肩、腰や膝等の痛みに悩まされることも有りません。丈夫に産んでくれた両親と結婚以来約５０年間毎日美味しい食事を作ってくれ和やかに過ごさせてくれている妻に大感謝です。

これ迄元気で来れた要因の一つは　高校、大学の７年間あまり環境の良くない道場でレスリングの練習を続けて抵抗力が付いたからかもしれません。高校は富山県の滑川高校で、２年先輩に１９６４年の東京五輪で銅メダルを獲得された堀内岩雄さんがおられました。道場は古い木造体育館の隅っこに有って隙間だらけ、冬には雪が吹き込んで来るほどでした。おまけにシャワーはお湯が出ず、冬の練習後には氷のように冷たい水を浴びたものです。大学の道場は記念会堂の観覧席下の空間を利用したもので、窓が少なく換気が悪く、汗と体臭が混じり独特の臭いが籠っていて、一般の人が近づくことさえ出来ないような酷いところでした。夏には４０度近い暑さの中で２時間強の練習をすると体重が２kg減ってしまいます。それでも一日経てば体重は元に戻っていました。大学では一年先輩に東京とメキシコの五輪で金メダルを獲得された上武洋次郎さんがおられて鍛えて頂きました。

卒業後はレスリングから離れましたが、逆三角形の広背筋と盛り上がった大胸筋を維持したく、毎日少しずつの腕立てや懸垂、腹筋等と週一回のランニングを続けました。６５歳迄はまだ３０㎞の青梅マラソンを２時間５０分程で完走していました。（５０歳頃から出場し始め、５４歳のときの２時間２５分が自己最高記録です）

しかし、寄る年波には抗しきれず、今では腹が膨らみすっかり老人の体形になってしまいました。それでも、毎日５時４０分に起床し、ラジオ体操を挟んで約１時間、腕立てや四股バットの素振りやジャンプ、腹筋等で体を動かしています。また、午前と午後それぞれ約４０分ほど散歩しています。歩いている間に認知症対策として一人で尻取りしたり、あいうえお順に地名や武将名、俳優名など浮かべたりしています。（例えば、地名のあ一秋田　い一岩手　武将のあ一明智光秀　い一石田三成　俳優のあ一浅丘ルリ子　い一石原裕次郎等）認知症は　程度の差はあれ遅かれ早かれ訪れるでしょうが、昨年四月の運転免許更新講習の認知機能検査では８８点でした。妻も８８点で一安心しました。

１０年前、２０年前と比べると体力も脳の働き等も落ちていますが、それでも今現在誰にも介助を受けずに元気で生活出来ていることに感謝です。これからも今の生活リズムを継続し、今出来ることを成るべく維持し、無理せず明るく楽しく「老い」と付き合い、妻と共に心身とも元気に過ごしていきたいと思っています。人の寿命は「神のみぞ知る」ですが、少なくとも日本レスリング協会監事の任期のあと３年、贅沢を言えば８０歳の平均余命の８８歳迄元気に過ごせれば最高です。また、俳句の会をはじめ元気な先輩も沢山おられる佐倉稲門会の皆様とのお付き合いを今後とも仲良く続けさせて頂き、長生きへの励みとさせて下さい。どうか皆様よろしくお願い致します。

ボケ防止に少しは役立つかな？

井澤　克彦（S42理工）

娘が勤めていたので孫娘の面倒を見ていました。孫が小学校の５年生と２年生の頃に、学校に世話になっているので少しは恩返しをしようと思い、学校ボランティアを始めました。“下校時の安全見守り”で、主に１年生と自宅付近まで一緒に歩いて帰るのです。週に２・３回、３km/回程度歩きます。すでに孫は大学生ですから、十数年経ちました。１年生で一緒に帰った子の卒業式に招待されましたが、なかなか良いものですよ！！　１年生とは７０歳も違うのに下校途中に真剣に喧嘩する事もありましたし、生徒の若いお母さんと近所で話をすることも有ります。これも脳の活性化につながりますよね。

指先を使うと脳の活性化が促進するといわれてピアノを習い始めた友人がいましたが、私は音楽が苦手なので“囲碁”を選びました。勤めている時に多少は打っていましたが、当佐倉稲門会の囲碁同好会に参加してからが主な棋歴です。　あまり上手くはなく、多少は進歩していますが未だに二段程度です。同好会に参加して　１年程経ってから、会の幹事になり今年で１０年目です。囲碁大会の「対戦表」を作ったり、「囲碁ニュース」を発行したり、パソコン相手に四苦八苦しているところです。囲碁よりパソコン相手の方が、ボケ防止に役立っているのかも知れません。

対外囲碁大会は、オール早稲田囲碁祭、早稲田大学校友会千葉県支部囲碁大会、佐倉　早慶親善囲碁大会、四街道・佐倉稲門会囲碁交流戦(年２回)で年５回開催しています。オール早稲田囲碁祭のＤクラス(５人×８チーム)で優勝し、日本棋院のある市ヶ谷で　祝勝会をしたのは忘れられません。もちろん私も５人の選手の内の１人です。

同好会内部の囲碁大会は年５回開催しています。毎回１０人程が参加していますが、最高齢者は９０歳を超えています。私はまだ８０前ですが、９０越えまで囲碁大会に　参加出来るよう頑張るつもりです。

会費千円で優勝等の賞金と参加賞が出ます。少ない金額で用意する“参加賞”は大した　品ではないですが「これは何かな？」と大変楽しみなのです。

碁は考えるスポーツと言われていますが、ついつい“エイ！”と打ってしまって後で　後悔し「あーすれば良かった、こーすれば良かった」と愚痴ばかり言っている私です。　コロナ前は、１月の囲碁大会後に新年会を開催していましたし、普段の大会後も有志で　反省会をしていました。皆と楽しく会合が出来る日がもうすぐ来ることでしょう。

まるで“囲碁同好会への勧誘”になってしまいました、ゴメンナサイ！！　でも、是非“囲碁同好会”にご参加ください、初心者の方も大歓迎です。

連絡先：囲碁同好会幹事　井澤克彦　043-463-1164、090-7242-353

六十の手習い

河西　郁男（S44教育）

昨今、あまり聞かれなくなった言葉に「六十の手習い」がある。

現在、後期高齢者の仲間入りをした当方にとって、60歳を迎える当時、先達の教訓からも定年後は趣味や習い事、何かしなければというプレッシャーがありました。それは同僚達も同じで定年後はカメラ、陶芸、畑、料理、楽器、日本一周、城巡り等、アレコレ話が盛り上っていました。翻って自分もリタイヤ後を有意義に過ごすためには何がいいのか悩みでした。そんなある日、新聞に「ヤマハ音楽教室無料体験」のチラシが入ってきたのです。深い考えもなく、冷やかし半分で音楽教室をのぞきに行ったところ、最初のピアノ教室は若い女性の先生が子供にレッスン中で、何となくそれを見ていました。その後突然、先生が私をピアノの前に招き（もちろんピアノは弾けないので固辞したものの）片手でドレミ～を繰り返し、指使いのレッスンを丁寧に教えてくれました。ピアノを習う気持ちは毛頭無かったものの、「歳をとっても大丈夫ですよ、楽しめますからやりましょう。」と若い女性の熱心な誘いについフラフラと入会することに・・・。我が家には嫁にいった娘が子供の頃使っていた音のずれたピアノがホコリをかぶって納戸にありました。

入会後は週に1回のレッスンです。最初はなかなか指が動かず入会したことを後悔することも多く、ポツンポツンと簡単な童謡が両手で弾けるまで2か月ほどかかりました。

それでも先生に励まされ少しずつ初級の教本が進むようになり、少しヤル気も出てきました。その後半年程たったある日、先生から「今度【ピアノ発表会】がありますので是非参加してください」『とんでもない、まともに弾けないのに勘弁して』必死に断るものの「初心者も演奏します。大丈夫ですよ、お年寄りもいますから。」と再三請われ、最後は押し切られる羽目に。後がない中ともかく練習、選曲は懐かしの映画音楽です。曲も弾く身にとってはかなりの長丁場で、最初から最後まで間違わないでピアノを弾くのは至難の業です。土俵際に追いつめられる中、発表会も近づき演奏者（自分）の名前が入ったプログラムが配られました。発表会は西武沿線の各教室から選抜？され、所沢の文化センターが会場です。

当日は生徒や知人、家族等で会場は大盛況、演奏者の多くは女性で子供も混じり、皆さん着飾って華やかです。早速自分の様な初心者らしき親父姿やお年寄りを探すもどこにも見当たりません。段々不安になってきました。いよいよ発表会が始まり、ステージの上では次々と華麗なピアノの演奏が奏でられ、レベルは高く初級的な人は誰もいません。ますます不安が募りこの場に参加したことを悔やんでも後の祭りです。自分の前は小さな女の子、魔法の様な指使いに唖然とするやらもうお手上げ、逃げる訳にもいかず緊張のまま自分の番になりました。それでも必死で教本を見ながら弾いていき、何とかリズムにのり、難所を乗り超え、「よし！」と思ったのもつかの間、後半、ツッカエ、ツッカエ、・・・・・・情けないやら恥ずかしいやら・・・・・・今は昔、「六十の手習い」の苦～い想い出である。

故郷の思い出　どこにでもあった女工哀史

稲垣　寛孝（S51法）

故郷を旅立ち、早稲田に入学してはや50年、「ふるさとは遠きにありて思ふもの」と詠まれていますが、故郷に戻る家も訪ねる人も居なくなると、逆に益々懐かしさを覚えます。今回は故郷にある女工哀史の碑を紹介します。

私のふるさと愛知県西尾市は佐倉に似た親藩の城下町（㊟）ですが、城下町特有の折れ曲がった道の奥に、石川台嶺の殉教記念碑（「大浜騒動」という明治時代の廃仏毀釈に関わる事件で斬首された僧侶の記念碑）があり、その敷地の片隅に「吊魂碑」という碑があります。これは、「光明寺村女工焼死事件」とwikiにも載っている事件で、明治時代に愛知県一宮の織物工場の寄宿舎が焼け、女工31名が焼死した事件の犠牲者を悼んだ碑なのです。

悲惨な女工の話は、「女工哀史」「あゝ野麦峠」で有名ですが、野麦峠ばかりでなく、全国にあった証です。製糸工場は富岡製糸場が有名ですが、富岡製糸場は官営であり、一日8時間労働、週休1日、診療所もあるという、今日でも通用する労働条件・労働環境でした。富国強兵の政策の為、全国に建てられた織物工場の中には悲惨な労働条件・労働環境の工場も多かったようです。当時騙されるように工場に勤めに来た農家の娘たちは、故郷に帰りたくて寄宿舎を逃げ出すので、寄宿舎の窓には鉄格子がはめられ、更に若い娘が大勢いるからと外から押し込む不埒な男もいたようで、入口には鍵が掛けられていたようです。

そんな寄宿舎で火事が発生すれば大変で、逃げることも叶わず多くの女工が焼け死んだのです。西尾にある「吊魂碑」は一宮の有力者たちが金を出し合い、女工の故郷である西尾市に碑を建てたのです。碑の裏面には大勢の娘たちの名前が刻まれており、同じ苗字があるのは、姉妹で勤めればその厳しさも和らぐと年端のいかぬ子供も勤めていた標です。

このようなことがあり、愛知県では、直ちに「工場及寄宿舎取締規則」が制定され、施錠の禁止や、寄宿舎の非常階段の整備など様々な保護の規制が生まれたのですが、同様の規制は全国でも進みました。（私の推測ですが、今でもその痕跡を法令に見ることが出来ます。企業における労働条件を定める就業規則を労働基準監督署に届け出る場合には労働者の意見書を添付するのですが、賛成でも反対でも意見がついていればよいのです。しかし、寄宿舎規則の届の場合は、労働者の同意がないと届が認められません。それだけ寄宿舎住まいの労働者を保護しているのです。）

さて、では、明治時代の女工がそれほど悲惨であったのかというと、それも一概には言えません。槍ヶ岳などの登山の帰りに野麦峠の記念館「野麦峠の館」に立ち寄ったことがあります。館内には、当時の女工が知り合った男性とやり取りしていた手紙が展示されていました。

偶々館長らしき人物が私に説明してくれたのですが、或る時、野麦峠の館を訪ねたご夫婦が、その手紙を見て、「これは私の祖父母の手紙です。」と話されたそうです。手紙のやり取りの後めでたく結婚したのですね。当時お小遣いのある女工は、街へ出ると写真館で自分の写真を撮り、付き合いの始まった男性へは手紙のやり取りだけでなく、自分の写真を送って交際を進展させたのだそうです。当時、腕の良い工女は「百円工女」と言われましたが、百円で家が二軒建つ、今でいう年収1000万サラリーマンだったのかもしれません。若い娘が工場に勤めに出ず農家にそのまま暮らしていたのでは、更に悲惨な生活があったのかもしれません。

残念なことに2022年3月に「野麦峠の館」も閉館したそうですが、こんな歴史のあったことも、どこかで伝える必要もあるのかなと書いてみました。

㊟佐倉も西尾も寺が多く、佐倉は武家屋敷が有名ですが、西尾は「三河の小京都」です。もっとも関西出身の方に言わせると、関西では「西尾市妙満寺！ヒサヤ大黒堂！」という痔の薬のCMが有名ですので、西尾というだけで「痔の薬か」と笑われます。

「人とのつながり」
必要・大切・感謝

大和田　和恵（校友の奥様）

佐倉で生まれ育った夫が53才で亡くなり、昨年33回忌を済ませました。
早稲田大学の政経学部で学び、代議士の秘書を経て27才から26年間佐倉市議会議員をしておりましたが、肝臓癌末期で余命三ヶ月との宣告を受け、平成元年に逝きました。
当時、私は46才、未成年を含む三人の子供が残されました。
その後18年住んだ家を解体、保険金と株式で頭金を作り、一億円余りの借財を30年ローンにし、一階を自宅と店舗、二階三階を賃貸ワンルームの集合住宅にし、平成3年1月に日替わりランチ、夜はカラオケと飲食が出来る店として洋風居酒屋「Silk」をオープン、同時に入居者募集、家賃収入は全て返済に当てるという長く大変なローン生活が始まりました。
女の知恵で始めてしまった小さな事業、失敗は許されません。二人の娘の協力もあり、口コミで広がり順調に営業しておりましたがリピーターになって頂かなくては存続出来ません。
料金設定や接客方法等お客様の立場に立っての営業を続けて来ました。
10年程前に形態を変え、カラオケ、料理付き飲み放題にしたところ、小パーティーや団体のお客様の宴会で賑わう様になり、現在は予約制にしております。営業時間は11時から22時ですが、12時からの予約が多く、又、女性だけのグループが増えてきております。
稲門会の方々との出会いは、数年前、隣の町内会の会合で会員の澤谷さんが初めてご来店になり、それがご縁で多くの会員の方々にご利用頂く様になりました。
長い間コロナ禍で疎遠になってしまいましたが、佐倉でのイベントの打ち上げ、プライベート等で再びご利用頂けます様、一日も早い収束を願っています。
そして返済の元になっているワンルームは満室になっていますが、長期間空室にしない為に途中から自分で管理、募集、契約をすることを考え、敷金、手数料無し、家賃だけで入居出来るようにし、更新料も無しと変えて、店の窓に張り紙をしました。
それを見て訪ねて来る人との契約になりましたが、身寄り無しの生活保護者もいて、保証人欄が空白の契約書が半分ありましたが、満室にするための苦肉の策でした。
長い間住んでいて高齢になって病気になり、入院の手配、看取り、火葬の立会い、収骨して無縁仏として見送った人が二人おりました。
その内の一人が庭に花壇を作り、玄関先に植えてくれた小さな沈丁花が驚く程大きく育ち、毎年、爽やかな香りと可愛いい花を咲かせ見る人を驚かせ、心を和ませてくれています。
新型コロナウィルスの感染拡大により、令和2年に入ると予約のキャンセルが続き、休業状態に陥りましたが、その年の9月、長くて苦しかったローン生活を無事に終える事が出来ました。
傘寿が目前に迫って来ていますが、健康であることに感謝し、又周りの方々への感謝を忘れる事無く、癒しの場、人とのつながりを大切にする場としてご利用頂ける様、田舎料理の腕を磨き乍ら精進したいと思っています。

この１枚

「ごみ箱送りの風景写真」

ふるさと広場でオランダ風車を入れて風景を撮る際、厄介な存在が脇を走る高圧線と鉄塔だ。今どきのデジタル処理で多少は何とかなるのだが、まともに入り込んでしまうと風景写真としては完全にボツ、ごみ箱送り決定である。

１７～１９世紀のオランダで産業を支える動力源だった風車。２０世紀に入ると、より高効率の化石燃料にその座を奪われ数は激減。今では保存対象の遺産や観光用モニュメントとしてのみ残される存在のようだ。

我が国では、前総理が２１世紀半ばまでに脱炭素社会の実現を目指すこと（２０５０年カーボンニュートラル）を宣言。昨年策定された国のエネルギー基本計画によると再生可能エネルギーを有効活用出来るよう送電網の運用ルールが見直され、県内銚子沖では洋上風力発電のプロジェクトも進行中。風車の活躍を目にする機会は今まで以上に増えるかもしれない。

資源エネルギー庁HPでそんな記事を閲覧後に取り掛かった画像ファイルの整理。ごみ箱送りを決めかけた一枚ではあるが「いつか使う日が来るかも？」と思い直し、保存用フォルダーにドロップしておいた。

中村　勇（S60社学）

「稲門佐倉」３４号　テーマ解説

１．社会・人との繋がりの回復・強化

人の喜び、幸せとはなんでしょうか。

それは結局、周囲の人たちとの良好な関係、良好なコミュニケーション、あるいは周囲の人たちの幸福が自分の幸福に繋がるということであり、人が生きるとは、人との関係のなかに身をおくことではないでしょうか。

このように考えると、私達が守るべき、あるいは守られている人間関係、コミュニティとは、狭くは家族、友人、広くは地域社会、会社、国ということになります。

では現状を見てみると、個人主義、自由という本来目的達成の手段であった考え方が、目的と化し、結果、人間関係の希薄化、そして３０年に及ぶデフレ経済による実質所得の低下、コロナ、中国の台頭による脅威などがあります。

これらに対処するため、今の世界を支配している新自由主義（市場を自由化し、政府を小さな政府とし、民営化し、競争を激化させれば、経済が効率化され皆が豊かになれるはずだという考え方。実際は、この考え方の政策により格差社会が拡大し、共同体（コミュニティ）の破壊が進行。）の再検討。積極財政による経済成長の回復、格差の縮小、エネルギー、食料、防衛等安全保障の強化について検討する必要があります。

２．美しく老いる

自然免疫力の強化を求めて適度な運動、添加物の少ない食事、精神面の充実も必要です。常識で対処していた考え方を、哲学、思想、歴史などもう一度紐解いて見ると得るものがあるかも知れません。

そして逆説的ではありますが、我々中高年については、好きな酒を飲む、好きな物を食べる、好きなことをする。健康診断の受診にあまり神経質にならないことなどが、「８０歳の壁」和田秀樹著に書かれています。

年齢を経るに従い、自然の摂理に従って生きていきたいものです。

（楠原　正人（S49社学））

発　行　人：竹鼻 始
編集委員会：河西 郁男、楠原 正人、諏訪 吉春、中村 勇
制 作 協 力 ：森山 泰充、早川 誠貴
ホームページ：www1.rurbannet.ne.jp/~sakuratoumon